

法吉小学校だより



法吉っ子

令和8年5月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆令和8年度の目標

今年度の目標は、4月号でもお伝えしたとおり、下に示すキャッチフレーズの内容です。

キャッチフレーズ ほっきっこをめざして

「伸びる」ために、「やってみよう」「がんばりぬこう」「ふりカエル、きりカエル」をやってみよう

教育学者のジョン・デューイは、「人間は経験から学ぶのではない。経験を『振り返る』ことで学ぶのだ」と説きました。単に経験を重ねるだけでなく、自身の行動を客観的に見つめ直すプロセスがあつてこそ、経験は確かな成長へとつながります。「振り返り」でどんどん自分の力を伸ばしてもらいたいです。

一方で、失敗を引きずらない「切り替え」も重要です。ある名メジャーリーガーは、三振してもベンチでグラブを手にした瞬間、即座に意識を守備へと切り替えたといいます。自分で気持ちを切り替える術をもっている人は逆境に強くなります。学校では、時間の切り替えも大事です。学習へ向かう際に「きりカエル♪」と声をかけると、ハッと気づいて準備を始める姿があり、効果てき面です。

これらは、変化の激しい時代を生き抜く「非認知能力」として注目されている力です。過去を学びに変える「振り返り」と、心を整え次へ向かう「切り替え」。今年度はこの2つの力を軸に、こどもたちのしなやかな成長を支えていきます。

◆ 「伝わる説明力」が育む力

取組の重点の一つとして、学校全体で「伝わる説明力」の育成に力を入れます。この取組を通して、大きく2つの成果を目指しています。

1つ目は、「確かな学び」です。ノーベル物理学賞を受賞したファインマン博士は、「本当に理解しているかを知りたければ、それをこどもに説明してみなさい」という言葉を残しました。「わかったつもり」になっていても、いざ誰かに教えようとすると言葉に詰まってしまう。そんな経験は大人にもあるはずですが。その「詰まった部分」こそが、まだ完全に自分のものになっていない「学びの伸びしろ」です。授業中、こどもたち同士で「なぜそうなるのか」を自分の言葉で説明し合う場面を意図的に作り、大切にしていきます。相手に伝わった喜びは大きな自信となり、さらなる学習意欲へとつながるからです。

2つ目は、「豊かな心」です。私たちはつい、身近な人に対して「言わなくてもわかってほしい」と期待してしまいがちです。しかし歌人の俵万智さんは、著書『生きる言葉』の中で、自分の状況や気持ちを丁寧に言葉にすることこそが、相手を大切にすることにつながると説いています。「言わなくてもわかるだろう」という思い込みは、時にすれ違いを生んでしまいます。「私は今、こんな気持ちだよ」「こうしてもらえると嬉しいな」と、自分の思いを言葉で丁寧に伝えること。それが相手への思いやりの第一歩となり、温かく心地よい人間関係を育む土台となります。そうすればトラブルも減ることでしょう。

「伝わるように説明する力」は、自分の頭の中を整理し、他者と心を通わせるための素晴らしい力です。ご家庭でもぜひ、「今日はどんなことを勉強したの?」「その時、どう思った?」と、お子様が自分の言葉で説明する機会を作ってみてください。学校と家庭の中での温かい対話の積み重ねにより、こどもたちの「確かな学び」と「豊かな心」が育まれていくと思います。



◆1年生を迎える会

5月1日（金）に、全校児童が集まって1年生を迎える会をしました。6年生が最高学年として活躍し、1年生も立派に法吉っ子の仲間入りができました。

学校紹介やみんなと一緒に楽しむゲーム、校歌の意味を知ってもらったり愛唱歌「四季の池」を一緒に踊ったりして楽しみました。1年生からも感謝の気持ちとこれから頑張るよというメッセージのお返しがありました。全校が温かさに包まれた雰囲気となりました。



◆法吉小には龍が住む？

法吉小学校の0Bの先生から、ある興味深いお話を聞きました。「職員玄関のある場所で手をたたくと、龍の鳴き声が聞こえる」というのです。日光東照宮や、大森銀山の城山神社で体験できる、あの「鳴き龍」が本校にもいるというのでしょうか。

理科が好きな私はワクワクが抑えられず、さっそく実験してみました。玄関のある位置に立ち、パン！と手をたたいてみると……おお、本当に聞こえるではありませんか！文字にすると「ビヨヨヨーン」という不思議な余韻。私が以前、城山神社で耳にしたあの龍の鳴き声に近いものを感じました。

この現象を調べてみると、これは「フラッターエコー」と呼ばれる音響現象だそうです。向かい合った天井と硬い床の間で音が何度も往復反射することで、音が長く響いて聞こえるのです。

法吉小の子どもたちは、毎日この玄関を通過して登下校をしています。まるで龍が、子どもたちの成長を優しく見守ってくれているかのようです。身近な場所にも、科学の不思議や心温まる発見はたくさん隠れています。皆さんも玄関を通る際は、ぜひ耳を澄ませてみてください。法吉の龍が、今日の活力を与えてくれるかもしれません。



ほうきどり

お礼 校庭芝生の管理、野菜づくり、登下校の見守り等々、保護者や地域の皆様からたくさんのご支援・ご協力をいただいております。ありがとうございます。

電話:0852-21-4354 FAX:0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp